

EN55013,CISPR13 オーディオ・ビデオ・TV 機器用ソフトウェア

■ EP5/AT 型 アンテナ端子雑音自動測定ソフトウェア

EP5/AT 型は、ヨーロッパ規格 EN55013・CISPR13 に従って、放送受信機および関連機器のアンテナ入力端子における妨害電圧の測定を自動的に行います。

■ EP5/RET 型 チューナ機器用放射ノイズ自動測定ソフトウェア

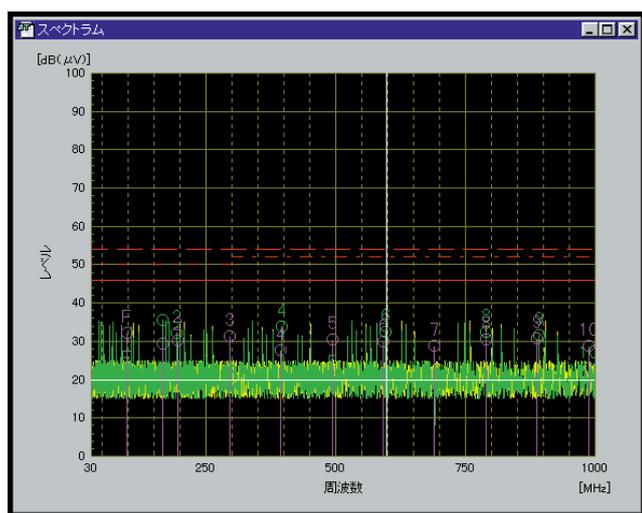
EP5/RET 型は、ヨーロッパ規格 EN55013・CISPR13 に従って、放送受信機および関連機器から放射される放射ノイズの測定を自動的に行います。

■ 特 長

● R&S 社、シバソク社など多種の TV 信号発生器、IF モジュレータ、アップコンバータ、MPX ジェネレータに対応。

● 高調波サーチ

測定されたスペクトラムデータから高調波を自動判断し、基本波の周波数から計算された高調波の次数をスペクトラムグラフに表示します。



高調波サーチ後のスペクトラムグラフ

● 多様な周波数微調整機能

● 基本波の微調周波数から再計算

基本波の周波数を微調整後、ソフトウェアが高調波周波数を自動的に再計算します。その周波数をもとに高調波の周波数微調整を行いますので、スペクトラムアナライザを狭いスパンで測定してもピーク値をのがすことなく正しい高調波を求めることができます。

● 2 回絞り込み機能

2 回絞り込みを実施する周波数微調整機能の採用により、1 回目の周波数微調整を実行後、さらにスパンをせばめて再度周波数微調整を実行させることも可能になりました。この機能により、EMI レシーバでの測定レベルの信頼性が一段と向上しました。

● 多数のチャンネル測定データを 1 ファイルに保存可能

EUT の各チャンネルの設定を測定チャンネルとして保存することで、測定データを 1 つのデータファイルに保存することが可能です。従来の汎用ソフトウェアでは、各チャンネルごとのデータファイルが作成されて複雑化していましたが、簡単なデータ管理を実現しました。



測定チャンネル設定

● 2nd ローカル・オシレータチャンネルの高調波をリストアップ可能 (EP5/RET のみ)

2nd ローカル・オシレータのチャンネル名・周波数・高調波最大次数などを設定することにより 2nd ローカル・オシレータの高調波を自動的にリストアップさせることが可能になりました。

● 自由な TVSG・RFSG のチャンネル設定

チャンネルファイル編集画面で、チャンネル名・チャンネル周波数・レベル・カラー方式・TV スタンドアードが自由に変更・編集ができます。任意の TV 方式や EUT チャンネルの変更にも簡単に対応することができます。

● 供試装置のヘテロダイン設定が可能

供試装置のヘテロダイン設定 (Upper/Lower) と IF 周波数を設定・保存することで、チャンネル周波数から基本波の周波数が自動的に計算されます。